

研究業績 (2018 年度)

(*, 責任著者)

【 英文原著 】

1. Higa R, *Hanada T, Teranishi H, Miki D, Seo K, Hada K, Shiraishi H, Mimata H, Hanada R, Kangawa K, Murai T, Nakao K. CD105 maintains the thermogenic program of beige adipocytes by regulating Smad2 signaling. *Molecular Cellular Endocrinology*. 15; 474:184-193, 2018

【 総説および和文論文 】

花田礼子, 「生理機能解析の新たな展開」, 玉樹会会誌 23: 50-51, 2018

【 招待講演・シンポジウム 】

花田礼子, 「生理機能解析の新たな展開」, 第 28 回 玉樹会総会・学術講演, 2018 年 8 月 25 日, 大分市(招待講演)

【 学会発表 】

1. 比嘉涼子, 寺西仁志, 花田礼子, 花田俊勝, 中尾一和
「マウス由来誘導型褐色脂肪細胞における CD105 の機能解析」
第 91 回日本内分泌学会学術総会, 2018 年 4 月 28 日, 宮崎市
2. 阿南まどか, 寺西仁志, 比嘉涼子, 花田礼子
「コカイン投与時における脳内 NMU システムの関与の検討」
第 91 回日本内分泌学会学術総会, 2018 年 4 月 28 日, 宮崎市
3. 比嘉涼子, 花田礼子, 花田俊勝, 寒川賢治, 中尾一和
「ベージュ細胞の熱産生機構における CD105 の役割」
第 23 回アディポサイエンス・シンポジウム, 2018 年 8 月 18 日, 大阪府豊中市
4. 比嘉涼子, 花田礼子, 花田俊勝
「CD105 は誘導型褐色脂肪細胞において熱産生プログラムを調節する。」
第 91 回日本生化学会大会, 2018 年 9 月 26 日, 京都市
5. 比嘉涼子, 花田俊勝, 花田礼子
「ベージュ脂肪細胞における CD105 の機能解析。」
第 69 回西日本生理学会, 2018 年 10 月 6 日, 北九州市

6. 鹿野健史朗, 松浦大智, 齋藤鷹也, 古満芽久美, 岩越栄子, 浮穴和義
「マウスにおける新規脳内因子 NPGL の生理機能解析」
第 69 回西日本生理学会, 2018 年 10 月 5 日, 北九州市

7. 上田哲平, 比嘉涼子, 鹿野健史朗, 花田礼子
「ストレス応答における NMU システムの機能解析。」
第 69 回西日本生理学会, 2018 年 10 月 6 日, 北九州市

8. 緒方将人, 鹿野健史朗, 梅田涼平, 比嘉涼子, 花田礼子
「ゼブラフィッシュにおける新規脳内因子 NPGM の生理機能解析。」
第 69 回西日本生理学会, 2018 年 10 月 6 日, 北九州市

9. 志手優仁, 山口隆司, 比嘉涼子, 鹿野健史朗, Yulong Li, 疋田貴俊, 花田礼子
「GRABDA センサーを用いたドーパミン動態解析。」
第 69 回西日本生理学会, 2018 年 10 月 6 日, 北九州市

10. 鹿野健史朗, 岩越栄子, 谷内秀輔, 古満芽久美, 浮穴和義
「NPGL は褐色脂肪組織において de novo 脂肪合成の亢進や熱産生の低下を引き起こす。」
第 39 回日本肥満学会, 2018 年 10 月 8 日, 神戸市

11. Ryoko Higa, Toshikatsu Hanada, Reiko Hanada
「CD105 maintains the rhermogenic program of beige adipocyte.」
9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress,
2019 年 3 月 29 日, 神戸市

12. Kenshiro Shikano, Daichi Matsuura, Takaya Saito, Eiko Iwakoshi-Ukena,
Megumi Furumitsu, Kazuyoshi Ukena
「Neurosecretory protein GL, a hypothalamic small protein, regulates appetite
and energy homeostasis.」
9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress,
2019 年 3 月 29 日, 神戸市